

<p>新規就農者の素顔</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p>
<div data-bbox="330 315 627 712" data-label="Image"> </div> <p>氏名：伊藤訓道 住所：加古郡稲美町加古 年齢：30歳</p>	<p>農地：35a（借地35a） 施設：ビニールハウス 1, 600㎡ （単棟7棟）</p> <p>経営内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無加温トマト 10a ・葉物野菜 30a ・ラズベリー 6a <p>労働力：本人、父、雇用1名 出荷先：業者、直売所、JA</p> <div data-bbox="959 743 1318 1008" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1038 1016 1262 1072" data-label="Caption"> <p>小松菜の収穫</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2014年 離職後、就農 就農直後ハウス5棟を入手 2017年 ハウスを1棟増設 2018年 ハウスを1棟増設 2019年 現在に至る</p>	<p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業では色々創意工夫をしたり、周辺農家から教えてもらうことが多く、面白い ・意外と若い就農者が周辺に多く、交流を持つことができたこと <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給料でない収入を得る大変さがわかった
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で新事業を立ち上げたかったため ・農業は時代が変わっても必要な仕事、農業従事者の高齢化に伴い、今なら伸びしろがあると思ったから 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域毎の特色（土地に合う作物・出荷しやすい作物等）を熟知すべき ・孤独にならないよう、家族のつながりや同業者の集まり等大切にすること